2026年 第7号

北斗に継なげ（ほしつ）

上磯中学校教育目標
☆考える生徒　☆心の豊かな生徒
☆根気づよい生徒　☆健康な生徒

上磯中学校通信　令和８年１０月３０日（金）発行

自然から学ぶ「親の愛」

北斗市立上磯中学校長　大友　貴代

この季節、必ず思い出すのは「キタキツネの子別れ」のエピソードです。10月のキタキツネは、厳しい北国の冬に向けて夏毛から冬毛への生え変わりが劇的に進む、1年の中で最も変化の大きな季節を迎えています。また、春に生まれた子ギツネたちにとっては**「独り立ち（子別れ）」**の最終局面にあたる、自立の時期とも言われます。この「子別れ」は有名な話ですのできっとご存じの方も多いかと思いますが、何度思い返しても「親の愛」について深く考えさせられる部分が多くありますので、少しだけ紹介させていただければと思います。

キタキツネの子別れの儀式～「春まだ浅い４～５月ころ、３～５匹の子ギツネが生まれる。親ギツネは巣穴の中で深い愛情をふりそそぎ子育てする。出産後の数週間は雄が餌を巣穴に運んでくるが、いつしかその雄も家族から離れていく。母親が狩りに出る間、子どもたちはじっと巣穴の中で母親の帰りを待つ。獲物をとってきた母親は、巣穴の入り口に戻ると合図する。子どもたちは獲物目がけて飛び出してくるが、最初に食いついた子どもが一匹平らげてしまう。出遅れた子どもたちは、お母さんのおっぱいで我慢するしかない。これは狩りを学ぶための最初の訓練とも言える。ある程度大きくなると、子どもたちは巣穴の外に出て遊ぶようになる。取っ組み合いのケンカや昆虫とりをし、遊ぶうちに狩りに必要な力がついていく。そのうち子どもたちの食欲が旺盛になり、母親は一日に何度も狩りに出なければならなくなる。目に見えてやせ細り、苦労は毛色やツヤを失っていくその姿に顕著に現れるようになる。

８月を過ぎた頃、「子別れの儀式」が行われる。それまで優しかった母親が、突然子どもたちを巣穴から追い出しにかかる。子どもたちがいつものように巣穴に入ろうとすると、母親は狂ったように彼らに襲いかかる。歯をむき出しにし、おそるおそる近寄る子どもたちに本気で噛みつく。子どもたちは思いもよらない出来事に混乱するが、母親は決して巣穴に戻ることを許しはしない。子どもたちにとって最も安全で温かい家から、考えられない厳しさで追いやられるのである。それは、子どもの体が大きくなったからでも、狩りの知恵や技術がついたからでもない。そばでその成長を見守ってきた母親が、子どもたちが新しい自分の領地を自分の力でひらき、そこで力強く生きていかなければならないことを教えようとする母親の愛情のこもった、しかし、悲しくつらい別れの儀式なのである。これほど厳粛で、これほど愛情豊かな儀式がほかにあるだろうか…。」



この儀式を、こうした理性的な行動として考える立場もあれば、子どもの成長した姿（見かけ上の変化）を見て突然母性本能が消え去り、警戒心や恐怖心を強めた結果の本能的な行動だとする考えもあるそうです。しかし、「自然から学ぶ」ことの大切さを思えば、子が親の愛に甘え、親もまた子を盲愛し、新しい人生の場でもある就職先にも付き添っていくという、こうした今の時代に生きる私たちにとって、この「子別れの儀式」に見るせつないまでの真摯な「親の愛」に、何か考えさせられるものがあるのではないかと思わずにはいられないのです。

進路実現に向けて

10月22日（木）より３年生の進路相談が行われました。11月末の三者面談で進路について決定するための準備として相談する機会です。希望の進路について先生に相談したり、学習面や生活面における現状などを先生から話されたりする中で、進路実現に向けて決意が固まってきているようです。

２年生は10月上旬にキャリア教育の一環として、各高校の内容や入学条件について調べ学習を行い、26日（月）、27日（火）の両日には、私立高校・高専・公立高校の先生方をお招きしての合同進路説明会を行いました。各校の特色や高校の先生方の熱心なお話を伺い、進路に対する意識の向上が図られたようです。

Congratulations!

吹奏楽部

第32回日本管楽合奏コンテスト
全国大会にて
最優秀賞・審査員特別賞受賞！！

10月２４日（土）に東京の文京シビックホールで行われた、第32回日本管楽合奏コンテスト全国大会において、最優秀賞及び審査員特別賞を受賞しました！応援ありがとうございます！

防災教室

本校では、各学年に応じた防災教室を開催しており、今年度も北斗市役所総務部総務課や北斗消防署の皆様にご協力いただきながら下記のような学習を行いました。

１年生　10月２日（金）４校時

○目標：災害発生のメカニズムの基礎や諸地域の災害例から危険を理解するとともに、日常の防災に対する備えを見直し、災害に対してまずは自らの生命を守るために適切な行動ができるようになる。

○内容：防災に関する講話、クロスロード体験



２年生　10月５日（月）2,3 校時

○目標：災害の歴史について知るとともに、地域の災害の歴史についての理解を深め、日常生活において知識を基に正しく判断し、主体的に自らの安全だけではなく他の人びとの安全にも配慮した行動をとることができる。

○内容：心肺蘇生法、AED 講習会





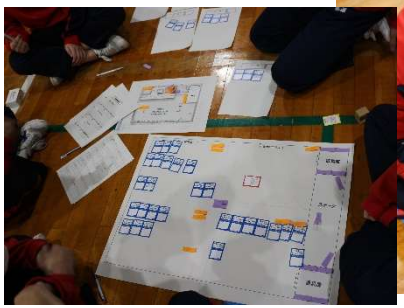


３年生　10月２日（金）5,6 校時

○目標：防災意識をさらに向上させ、安全で安心な社会づくりの大切さを認識し、地域の防災や災害時の助け合いの重要性を学び、防災活動や災害時のボランティア等の支援活動に対する理解を深める。

○内容：①ハザードマップを用いての説明

②「do はぐ」体験







「災害での被害を減らすためには、日ごろからの『備え』と『心構え』が必要です。」

避難訓練（火災、地震・津波）

防災教室のほかに、年に２回の避難訓練も実施しています。

６月には、火災を想定した避難訓練。10 月には、大規模地震の発生後、津波警報が発令されたことを想定しての避難訓練です。どちらの訓練も北斗消防署からは、先生も生徒も真剣に訓練に参加しているとの評価をいただきました。

「北斗市ホームページ」より